

1. 教育思想・哲学

1 - (1)

フランクフルトにおける教育思想の一考察 —ホモ・パティエンスとエンテレケイアー—
名和 優 (芦屋大学大学院生)

1 - (2)

人間の身体性に関する教育人間学的一考察 —新型コロナウイルス感染拡大による混乱のなかで—
朝倉愛里 (立命館大学大学院生)

1 - (3)

英米政治思想史におけるフンボルト受容
柳田和哉 (大阪大学大学院生)

1 - (4)

日本の伝承遊びに関する教育人間学的考察 (2)
越 拓野 (立命館大学)

1 - (5)

G. バタイユにおけるしなやかな人間化の問題 —脱人間化を見越して行われる人間化について—
森 亘 (京都大学大学院生)

1 - (6)

インテグラル理論の観点を用いた教育人間学研究の検討
平野貴寛 (立命館大学大学院生)

2. 教育史

2 - (2)

国会図書館蔵『グラスゴウ・西部スコットランド技術カレッジ1888年度要覧』
—工部大学校教育の還元—
加藤詔士 (名古屋大学名誉教授)

2 - (3)

学生が考えた奈良女附小資料を活用した学習案の一例
阪本美江 (大阪芸術大学短期大学部)

2 - (4)

小学校裁縫専科正教員無試験検定 (一部試験) 教育科試験問題の分析
—1920年代末期から1930年代初期における京都府を事例として—
遠藤健治 (美作大学)

2 - (5)

宗教家・佐藤範雄 (1856 ~1942年) の「社会教育」思想と実践
—社会教育の成立をめぐる国家・教育・宗教の関係—
松岡悠和 (京都府立大学大学院生)

2 - (6)

土田杏村が英国の労働者教育協会 (WEA) から学びそこなったこと
—自由大学運動の衰退原因を探る—

岡本洋之（兵庫大学）

2 - (7)

緑表紙教科書にみられる塩野直道の数理思想についての一考察

田島冬夢（大谷大学大学院生）

3. 教育方法

3 - (1)

「絵本」について

—フレール教育論文「形および形態の学、ならびにそれらの高尚な意義と関係」から—

馬場住子（甲子園短期大学）

3 - (2)

特別活動指導法における基礎的実践力を高める試み

定金浩一（甲南大学）

3 - (3)

稲垣忠彦の教育実践研究観 —教授学研究の会での位置づけに着目して—

岡村亮佑（京都大学大学院生）

3 - (4)

ICTの活用と統計の学習を通じた中等教育における社会科学教育の可能性

児玉英靖（洛星中学・高等学校）

3 - (5)

日本におけるサービス・ラーニングの展開 (21) —一定時制高校での学びから—

○大束貢生（佛教大学）

富川 拓（聖泉大学）

3 - (6)

今井誉次郎におけるロマンチズム論の検討 —リアリズム論との関係をめぐって—

瀬川千裕（神戸大学大学院生）

3 - (7)

ビックヒストリーの授業を高校で実践してわかったこと

—Big History Class for Japanese Educational Scenes—

幸前憲和（元市立尼崎高等学校）

4. 幼児教育

4 - (1)

小林美実による子どもの「表現」論 —既存の幼児教育における技能主義への批判から—

吉田直哉（大阪府立大学）

4 - (2)

幼児の健康と生活実態に関する基礎的研究 —関西圏私立A幼稚園のアンケート調査の結果から—

矢野正（奈良学園大学）

4 - (3)

幼児期における思考力の芽生えに関する研究

— 3歳児がかかわる自然環境の保育事例に焦点をあてて—

中川欣子（鳴門教育大学大学院生）

4 - (4)

保育の現場におけるICTの活用による効果と課題について

○藪内昭吾（PRAISE株式会社）・長谷川重和（神戸親和女子大学）

長谷川 重和（神戸親和女子大学）

4 - (5)

保育活動における幼児の言葉による伝え合い —幼児同士の位置関係による発話の相違—

高橋一夫（神戸親和女子大学）

4 - (6)

ある小規模保育の場で保育者が感じる息苦しさとは

吉次豊見（大阪成蹊大学）

5. 学校教育

5 - (1)

教育行政・教育研究者の協同による小・中学校教員研修事業の評価と課題

—神戸市総合教育センター教育相談研修事業参加校アンケートからの検討—

○廣岡千絵（神戸市教育委員会）・中村豊（東京理科大学）

中村 豊（東京理科大学）

5 - (2)

非教員養成大学におけるオンライン授業での教職課程の学び

—学生の記述から見える利点と問題点—

国吉恵一（京都産業大学）

5 - (3)

国際理解教育の事例から考える総合的な探究の時間と特別活動の連携

藤原靖浩（関西福祉科学大学）

5 - (4)

北海道釧路市におけるコミュニティ・スクールに関する研究（2）

田中達也（釧路公立大学）

5 - (5)

「社会に開かれた教育課程」に基づく学びのなかで育成を目指す「主体性」とは何か

島田喜行（同志社大学）

5 - (6)

コミュニティ・スクールにおける教育実践記録の分析

大橋保明（名古屋外国語大学）

6. 教科教育

6 - (1)

考古学模型標本から時代の特色を理解する原始・古代史授業開発

—小单元「物質資料から時代の特色を探れ!」を事例に—

八田友和（クラーク記念国際高等学校）

6 - (2)

算数科におけるレディネステストの実践事例検討 —第5 学年の单元「小数のかけ算」を通して—

木村憲太郎（岸和田市立天神山小学校）

6 - (3)

日本人高校生英語学習者による自由英作文の統語的複雑さの分析：パイロットスタディ

平林健治（大同大学）

6 - (4)

高校世界史授業における論述指導の目的に関する考察

中村洋樹（四天王寺大学）

6 - (5)

絵譜の創始者GrügerのLiederfibel構想 —“Liederfibelとその実践的応用”を手がかりに—

臼井奈緒（佛教大学）

6 - (6)

昭和戦前期における小学校の俳句指導 —兵庫県古市尋常高等小学校を事例として—

酒井達哉（武庫川女子大学）

7. 高等教育

7 - (1)

国立大学における「不本意入学」の実態 —入試形態・ジェンダー・学部・大学階層に着目して—

小林元気（鹿児島大学）

7 - (2)

高等教育におけるコンテンプラティブ実践の導入に関する研究

—卒業研究を通しての学生の気づきを中心に—

○加納友子（立命館大学）

藤田美紗都（立命館大学大学院生）

8. キャリア教育

8 - (1)

高等学校のキャリア教育における授業デザインに関する研究

—他者を通じた学びに基づく授業を対象に—

胡田裕教（愛知教育大学）

8 - (2)

科目「キャリア演習」からみた学生の将来像について考える

—初年次教育における1 年間の学びより—

藤重育子（神戸医療福祉大学）

9. 教育臨床の諸課題

9 - (1)

運動部活動経験者の体罰肯定意識に関する質的研究

長谷川誠 (神戸松蔭女子学院大学)

9 - (2)

「語り」を読み解く現象学的アプローチ —教育臨床の実践を解明する質的方法—

岩崎久志 (流通科学大学)

9 - (3)

音楽科授業成立の鍵 —教育的瞬間と教師の実践知に着目して—

高見仁志 (佛教大学)

10. 特別支援教育

10 - (1)

保育者養成校における障害者手帳 (身体・療育・精神) を所持する学生へのキャリア支援の一考察

林静香 (華頂短期大学)

10 - (2)

特別支援教育における多重感覚環境活用の現状と課題

藤澤憲 (和歌山県立和歌山さくら支援学校)

10 - (3)

インクルージョン実践における支援組織の構造とその再編過程

—関西圏にあるS小学校を事例として—

久保田裕斗 (京都大学大学院生)